

ぎ ぎふ清流国体、本番へ向けて 市内でリハーサル大会始まる



県内で来年開催される「ぎふ清流国体」のリハーサル大会として、7月16、17日に中山公園陸上競技場で全日本実業団アーチェリー大会が行われました。

来年の国体では、アーチェリーのほかハンドボール、バスケットボール、スキーの各競技が市内で行われます。市では、8月以降、順次開催するリハーサル大会で、本番へ向け準備を進めています。

い のちの森づくり、始まる 宮脇昭先生と森の植生観察会



市では今年度から、市民・民間・行政とが一緒になって地域に合った本来の森をつくる「いのちの森づくり」プロジェクトを進めています。

7月20、21日には、日本で最も木を植えた男と言われている宮脇昭横浜国立大学名誉教授と一緒に、市内3カ所の森で植生観察会が行われました。身近にありながら知らなかった多くの森の営みの説明に、参加者は熱心に聞き入っていました。

夏 休みのもう一つの楽しみ方 体験型子ども預かり事業



夏休みの間、保護者が留守になるご家庭の小学生を預かる「ポップのおうち」事業が7月21日から社会福祉協議会で始まりました。

屋内で預かるだけでなく、夏休みだからこそその体験としてキャンプや川遊びなど五感を養うさまざまな野外活動も取り入れているのが特徴で、参加した子どもたちはいつもと違う仲間とのいろいろな経験に、さわやかな笑顔を見せていました。

外 で遊べることの喜びを実感 被災地の子どもたちを高山へ招待



東日本大震災で不自由な生活を送り、屋外で遊べなくなった子どもたちを招いて、飛驒の自然を存分に満喫してもらう取組みがNPOなどにより行われました。

朝日町では花籠部屋の力士との交流やウォークラリーなどが8月3日に行われ、子どもたちは満面の笑顔で高山の夏のひとときを楽しんでいました。

このほか高山ライオンズクラブや市にご縁のある岐阜市などの市民団体による受入れもありました。

毎月最終土日は「飛驒牛の日」次は8月27、28日です

飛驒牛発祥の地である清見町では、飛驒牛をキーワードに清見町全体の産業振興を図ろうと「みんなで牛っと元気な清見町の会」が7月に発足し、地域の活性化に取り組んでいます。

同会は道の駅や飲食店、観光協会や商工会、畜産農家団体など8団体から構成されており、毎月最終土日を「飛驒牛の日」として飛驒牛メニューの割引や飛驒牛関連商品の提供を行っています。これを機会にぜひ飛驒牛を清見町で味わってください。



割引メニュー例
「飛驒牛ほう葉味噌焼肉御膳」